

東急不動産ホールディングス 型枠合板調達基準

東急不動産ホールディングスグループでは、持続可能な資材調達への社会的要請が高まる中、法令対応をはじめ、事業リスクやレピュテーションリスクの回避に努め、サステナブルな調達の実施を行っています。サプライチェーン全体で責任ある型枠合板の利用を目指すため、以下の基準を策定し、当社基準レベルに適合する合板の調達を推進します。

(1) 型枠合板に対する目標

- ・ サステナブル調達方針に則り、法令遵守や環境負荷・人権リスクの低減を徹底します。
- ・ 2030 年度までに型枠合板のサステナブル調達 100%を実現します。

(2) 型枠合板調達基準レベル詳細

<評価ランク>

レベル	木材の状況
A	森林認証材や国産材の証明可能な木材（監査、証明書類の提出）
B	東急不動産ホールディングスが持続可能性を認めた木材
C	改正クリーンウッド法※ ¹ の合法性※ ² が証明できる木材

(補足)

- ・ 【A 森林認証材】 FSC／PEFC 等の第三者認証材、国産材など、証明書類の提出が可能
- ・ 【B 持続可能材】 当社基準（合法性：評価ランク C、EUDR 標準国以上※³、東急不動産ホールディングスグループ「サステナブル調達方針」5)-6.) の全てを満たす木材
- ・ 【C 合法材】 改正クリーンウッド法準拠（樹種・伐採地域・証明書による証明が可能）

※1：改正クリーンウッド法（以下、クリーンウッド法）では、「樹種」「伐採地域（輸入材の場合、伐採国）」「証明書」の情報（原材料情報）が必要とされている。

※2：伐採に当たって原木の生産される国又は地域における森林に関する法令に照らし、手続が適切になされたものであること。

※3：欧州森林破壊防止規則。森林関連製品が、森林破壊に関与していないことの証明を義務付ける規制。国別リスクを評価。2026 年 4 月現在、ベラルーシ、ミャンマー、北朝鮮、ロシアが高リスク国であり、それ以外の国を指す。

(3) 当社グループの KPI 目標

対象木材	建設にかかる型枠合板
目標・KPI	2030 年度までに型枠合板調達基準レベル A、B、C のいずれかを達成する

(4) 建設会社への依頼事項

- ・ 誓約書（サステナブル調達）を提出すること。
- ・ 「木材トレーサビリティ確認リスト」を竣工図書に含むこと。

以上